

熱のVoice ②

エキスパートチーム編

みなとみらい二十一熱供給株式会社

企画開発部

※部を代表して後藤吉博氏にインタビュー



上段左から、和田主事、濱崎開発担当役、宇佐美氏
下段左から、澤出課長代理、後藤課長、堤主事、増山氏

「進出企業がますます増えるエリアにおいて、スピード感ある臨機応変な対応力でプラント設備新設・更新工事を展開し、お客さまの熱供給導入を推進」

所属する部署の主な業務内容を教えて下さい。

後藤 みなとみらい 21 中央地域は、供給延床面積や販売熱量も全国有数の地域で、私たち企画開発部は、プラント工事や導管工事を担当しています。最近では、老朽化した熱源機の更新工事を実施し、その際に世界最大級のインバーターボ冷凍機(5,400RT)への入れ替えを行ない、プラントの総合効率(COP)向上やCO₂排出量削減を図りました。その他にも、受変電設備更新工事、コージェネおよび非常用発電機の新

設工事、新規お客さま向けの洞道や地域導管工事などを進めております。

業務遂行のために心掛けていることなどを教えて下さい。

後藤 私どもでは、新規のお客さまの熱供給受入れ関連の対応や工事に伴う行政対応も担当しております。近年、みなとみらい 21 地区に進出する企業が非常に増えてきており、将来的にもお客さまが増えていく状況です。そうしたお客さまのエネルギー供給について初期段階の対応をする部署ですので、誇りをもって業務にあたるとともに、関係する皆さまと協力しながら、スムーズに供給開始できるように、部員一同、スピード感と臨機応変な対応力を発揮しながら、業務を遂行しております。

お仕事の喜び、やりがいを教えてください。

後藤 計画から完成まで、関係者と協力しながら考えたことを着実に実行することにより、みなとみらい 21 地区の価値向上に貢献できるこ

と、そして、お客さまや工事に関わった方々に喜んでいただけることが励みになります。また、1つのプロジェクトは数年にわたる仕事のため、苦勞することも多々ありますが、完成した時の喜びはひとしおです。

今後の課題をお聞かせ下さい。

後藤 最初にお話した更新工事はセンタープラントで行なっていますが、今後第2プラントでも同様の工事が続きます。これらの工事を無事に進めていくことが課題です。新規のお客さま対応もつつがなく進めていきたいと思います。また、地区の開発が一段落した後も、会社が成長できるように、何ができるかを考えながら、日々の仕事に取り組んでいきたいと思っています。



部内で打合せをする後藤氏

後藤 吉博氏 (Goto Yoshihiro) 略歴

1998年4月入社。プラントのオペレーション業務、新設および更新工事等業務、保全工事業務を経て、現在、再び新設および更新工事等の担当として勤務。趣味は、バイクでツーリングやレース観戦。

(取材：善本 信之 広報委員)